

平成30年度学校評価報告書

平成31年3月11日

北海道教育委員会教育長 様

北海道野幌高等学校長 林 正 憲

次のとおり平成30年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 学ぶ姿勢を重視し、生徒一人一人を成長させる授業の実践
- (2) 教育的愛情をもち、粘り強く組織で指導する体制の確立
- (3) 生徒の力を高め、社会性を育むキャリア教育の充実
- (4) 教職員が情報を共有し、協働して課題に取り組む体制の確立

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修、授業公開、生徒による授業アンケート等に取り組み、新学習指導要領の理解や授業改善に努めた。学習意欲を高め、学びの基本が身につく授業となるよう、一層の工夫・改善が必要である。 ・授業規律強化週間など指導の徹底を図り、学習態度や教室環境に改善が見られたが、一部に課題がある。 ・基礎学力に課題のある生徒や資格取得試験への対応など個に応じた指導に努め、一定の成果を上げたが、多様性への対応にさらなる工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に意欲的に取り組んでいることは素晴らしい。 ・魅力ある授業が学ぶ姿勢を変える。 ・苦手であきらめて入学してくる生徒に先生が一生懸命関わることが大切。 ・タブレット活用などの工夫が学びの意欲を高めることにつながる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の研修や日常的な互見授業により、教科の枠を超えた研鑽に努める。 ・生徒の状況に係る情報を共有しながら足並みを揃え、授業規律の徹底を図る。 ・2022年度の新学習指導要領実施に向け、「基礎・基本重視」の新教育課程の編成に向けた検討を進める。 ・ICTの活用や個に応じた指導に係る研修を推進し、指導や評価の工夫・改善を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館での一斉ホームルーム、「命の授業」、コミュニケーショントレーニング等互いの人間性を尊重する指導は一定の成果を上げている。また、「話を聞く姿勢」は大きく改善した。思いやりの心や協調性を育む生徒指導は一層の工夫が必要である。 ・面談週間の設置やSCの活用、各種研修により多角的で深い生徒理解に努めた。 ・遅刻については、朝の立ち番指導等により前年度と比較し半減した。身だしなみについても全体として改善したが、一部に課題がある。 ・生徒会活動は意欲的に行われ、大きな行事に加え、新たな取組もあり活気ある学校づくりに貢献している。 ・部活動やボランティア活動は参加生徒は少ないが、一生懸命取り組み、人間的な成長に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に生徒がよくなったと受け止めている。 ・内面に迫る指導を継続してほしい。 ・厳しい指導も必要である。 ・「成長できた」「やり直せた」という経験をさせてほしい。 ・中学校で不登校だったが本校でがんばっている生徒が少なからずいるのは素晴らしい。 ・部活動の教育的効果は大きい。様々な困難があるだろうが、最大限工夫して、生徒の参加を促してほしい。部活動指導員について、地域に協力を呼びかけてはどうか。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・教育的愛情と信頼をベースに、生徒理解及び生徒とのやりとりを重視し、生徒の居場所づくり、自己肯定感の醸成を図る指導や機会の設定に一層努める。 ・法律や社会のルール、マナーの意味を理解させ、生徒の自己指導能力を育成するとともに、よりよい社会づくりに貢献できる力を育むよう、生徒会活動や部活動、ボラン 	

	<ul style="list-style-type: none"> ティア活動の活性化に努める。 きめ細かく組織的な指導により、問題行動やいじめの未然防止に努める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業との交流会を行い、一定の成果と今後の連携関係が築けた。より一層生徒の意識を高め主体的に進路活動に取り組みさせるよう、組織的な支援や情報提供が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業との交流はとてもよい。継続してほしい。 就職して安易に早期離職しないような指導を望む。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の全体計画を改善し、3年間を見通した計画的な進路指導を実施する。 各種調査や面談を通じて生徒個々の進路希望や適性を把握するとともに、学校、保護者、生徒の三者が情報共有をより一層図る。 一人一人の生徒の進路希望に対する組織的な支援体制を整備する。 	
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校医・SCや専門機関との連携を図り、保健講話等生徒の心身の健康に係る指導に努め、一定の成果を上げたが、自己の健康管理能力、環境美化意識及び危機管理能力の育成については、課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> SCやSSW、専門機関を積極的に活用してほしい。 災害時の安全確認、連絡体制を整えておくことが大切である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談をより一層機能させ、生徒の困り感に早期に対応する。 SCやSSW等外部専門家との連携をより一層強化する。 環境美化に重点を置き全体計画を見直し、学習環境の整備を徹底する。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化と連携及び組織的かつ効率的な業務推進については、一定の成果を上げたが、PDCAサイクルを回し、課題解決に向け、より一層の学校改善を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織は、メンバーが自ら動き、積極的に意見交換、情報交換することが大切である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 学校のビジョンや教育方針等の一層の共有化を図り、課題解決を進める。 報告・連絡・相談の質を高め、迅速かつ適切な情報の共有のもとに学校運営を進める。 服務規律の遵守について、引き続き、日常的な情報提供と教職員の相互牽制により不祥事の未然防止を図る。 学校経営や学校改善に対する全職員の意識を高め、仕事の質の向上や効率化、合理化のため主体的に行動する。 	
保護者、地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> ウェブページやメールによる積極的な情報発信は、成果を上げた。 警察やボランティア団体、老人ホーム、幼稚園などと連携し、また、学校周辺のゴミ拾いを行い、地域との関わりの中で教育を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> よいところや成果を、特に中学校に対して積極的に発信してほしい。 メール配信の活用は素晴らしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 本校に対するイメージを変え「よりよい学校教育を通じよりよい社会をつくる」ことにつながるような、PTAや地域との取組を進める。 学校公開週間への保護者や中学校、地域の方の参加をより促す。 学校配信メール登録は原則100%とし、より一層の情報発信と緊急時の対応に備える。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事の対応には様々な困難があったが、関係者の協力を得て、大きな支障なく進めることができた。 本校70周年記念行事に向けた実行委員会を開催し同窓会、PTAとの共通理解を深めることができた。また、制服改定に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、校舎をきれいに使ってほしい。 70周年記念行事を中心として、学校を盛り上げてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 新年度の入学生から導入される新制服の着こなし指導を適切に行う。 平成31年度の70周年記念関連行事を成功させ、生徒に母校への誇りを持たせる。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果及び学校関係者評価書を学校評議員へ配付し、学校評議員会で説明する。 PTA総会に学校関係者評価の結果等を公表する。 本校のWebページに学校関係者評価書を公表を掲載する。 	